

ゼミ活動報告

「共英製鋼の緒方専務がご来学されました」

今西 亮介

9月14日に共英製鋼の緒方専務が宮川研究室にお越しになりました。私、今西は小坂・足立と共に共英製鋼のレポートを担当しており、人一倍の気合をいれて望みました。といってもこ



の日は共英製鋼分析チームの小坂が部活の試合で不参加ということで、彼は非常に残念がっていましたが。緒方専務とのセッションを控えて私は、前日から、質問はどういう風にしよう、どのような事をお伺いすれば、レポートに繋がるだろう、緒方専務はどんな方だろうと、色々と悩んでおりましたが、当日、緒方専務のセッションが始まるとそんな悩みは無駄でした。緒方専務は高炉と

は、電炉とは何かということから始まり、日本、アメリカの鉄鋼業界、電炉の今後について雄弁に語っていただきました。もちろんのこと、私たちの質問に対する答えを織り込んでいただいた形で。本当に緒方専務の説明は丁寧で、我々学生にもわかりやすく、また熱をもっており、緒方専務のお話が終わる頃には、鉄鋼業界で働きたい！と思う程でした。

緒方専務とのセッションは私達の聞きたい事がまだまだたくさんあり、予定の時間では不足、二次会に繋がりました。飲み会では、経営者のビジョンを語っていただきました。緒方専務はアメリカで不振の会社を立て直したり、現在まきおこる電炉の再編を促したりと、とてもスケールの大きな話をしていただきました。

総じて、緒方専務の常に勉強し続ける努力を惜しまない姿勢、学生にも同じ視点にたって説明して下さる優しさ、鉄鋼マンらしい熱い気持ち、など書ききれない程の緒方専務の人柄に魅了された一日でした。

私ごとですが、共英製鋼のレポートを忽那ゼミとの交流会に使っていただけるようなので、熱弁をふるってくださった緒方専務にも報いるためにも、このレポートを完成にもっていくため尽力惜しまず頑張る次第でございます。

